

5年生 焼き物で常滑の生活環境をよりよくしよう

1 授業プログラムの特色

(1) ねらい

- ・ 常滑の生活環境を調べ、よりよくするために自分たちでできることを考える。
- ・ 協力して大型作品を作る活動を通して、焼き物づくりのおもしろさや大変さにふれる。
- ・ 自分たちの作った大型プランターや金魚鉢を設置することで地域の生活環境整備に貢献する。

(2) 連携・協力していただいたNPO等

- ・ 陶彫会
- ・ とこなめ中央商店街
- ・ 焼き物散歩道

(3) 授業プログラムのよさ

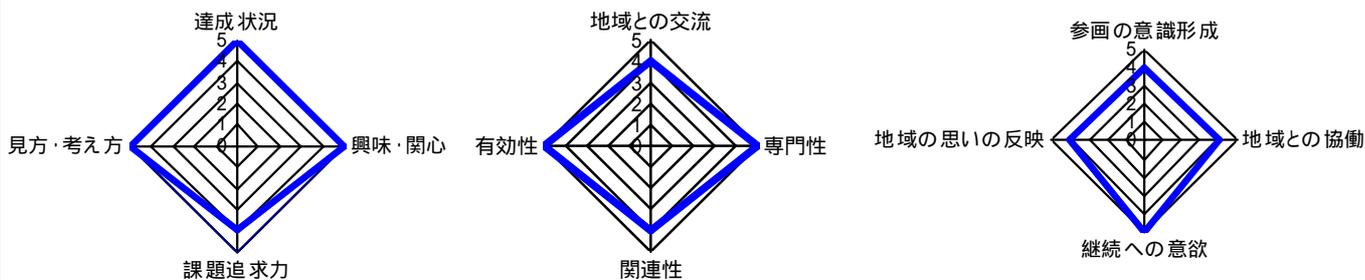
- ・ 焼き物をつくって設置する視点から、地域の環境に目を向け見直す。
- ・ 大きなものに挑戦することで、焼き物づくりの楽しさや技能にふれる。
- ・ 自分たちの焼き物を設置することで、地域に愛着をもち、地域に貢献する。

(4) 検証の視点による評価のレーダーチャート

【子ども：学びの成果】

【教材：授業プログラムとしての質】

【教師：教師の意識】



〔子ども〕見方・考え方：大型のプランターや金魚鉢を作ったり設置したりする活動を通して、常滑に対する見方や考え方が変わったか。

〔教材〕有効性：自分たちで作った大型のプランターや金魚鉢を設置するための活動は、地域に貢献する児童の育成というねらいを達成するのに有効であったか。

〔教師〕地域の思いの反映：常滑の生活環境を見直したり、生活環境をよりよくしていく活動の中で、教師は、地域の人々の思いを単元計画や課題の設定・発問などに反映させることができたか。

2 第5学年授業プログラム

(1) プログラム名(単元名) 「焼き物で常滑の生活環境をよりよくしよう」

(2) ね ら い

- ・常滑市の生活環境に関心を持ち、自分たちでよりよい生活環境をつくるためにできそうな活動を考える。
- ・焼き物をつくる体験や設置する活動を通して、地域の一員として貢献する大切さに気付く。
- ・大きな焼き物の作品の作り方を知り、地域で役立つものをつくる。
- ・自分たちの活動についてまとめたことなどをホームページや市の広報、ケーブルテレビなどで分かりやすく伝える。

(3) 時 間 数 25時間完了

(4) 学習計画

時	本時のねらい	児童の学習活動	教師の支援	評価計画	備 考
1	18年度の活動を振り返り、19年度の活動の見通しをもつ。	18年度の陶彫設置でよかったことを話し合う。 ・地域の方に喜んでもらえた。 ・観光客の人が感心していた。 ・自分たちの記念となった。 19年度の活動について考える ・地域の様子について話し合う。 ・地域の役に立つことを考える。	18年度の活動を振り返る資料を提示する。 ・写真、スライド ・テレビニュースの録画ビデオ ・新聞記事・作文など 5年生のテーマ「環境」から焼き物で地域の役に立つことを考えさせる。 ・美化 ・福祉 ・観光	地域の生活環境に関心を持ち、よりよくしていくために役に立つことを考えようとする。 (話し合い) (ワークシート1)	《準備するもの》 ・ワークシート1 ・18年度の記録(写真・スライド・ビデオ・新聞記事の切り抜き・作文など)
2 3 4	単元のねらいにそって計画を立てる。	常滑の生活環境について自分なりの考えをもつ。 常滑の生活環境を調べる計画を立て	小学生として、大人として、高齢者として、幼児として住みやすいかどうか聞き取らせたり、考えさせたりする。 地域の人々が利用している商店街を中心	聞き取ったことをもとに考える。 (話し合い) 自分たちの地域の商店街の様子につ	《準備するもの》 ・ワークシート2 ・ワークシート3 (常滑の生活環境に対する聞き取り調査カード) ・ワークシート4

時	本時のねらい	児童の学習活動	教師の支援	評価計画	備考
		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこに行くか ・何を調べるか ・どのように調べるか 	<p>に考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな人がどのような目的で利用しているか ・何があると便利か 	<p>いて考える。</p> <p>(話し合い)</p>	<p>(計画書)</p>
5 ・ 6	<p>自分の予想や考えをもとに地域の様子に気づいたり、自分たちの役割について考えたりする。</p>	<p>町の様子を調べに行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とこなめ中央商店街 ・焼き物散歩道 	<p>地域の人々や観光客利用する場としての役割に着目させて、役に立つものを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベンチ ・ごみ鉢 ・傘立 ・プランター ・モニュメント <p>管理者や利用者に聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役に立つものは何か ・設置してもらえるか 	<p>施設の役割に気づき、よりよくするために必要なものを考える。</p> <p>(ワークシート5)</p>	<p>【依頼する外部人材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とこなめ中央商店街 ・ワークシート5 (記録用紙)
7	<p>調べてきたことをもとに地域の生活環境をよりよくするために作るものを考える。</p>	<p>地域の施設で役に立つものをつくる計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何をつくるか ・何人でつくるか ・どこに置くか 	<p>どれくらいの大きさのものまでが製作可能か、事前に把握しておく。</p>	<p>利用する人の立場にたって必要なものを考える。</p> <p>(話し合い)</p> <p>(ワークシート6)</p>	<p>《準備するもの》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート6 (製作の計画書) <p>【事前の手配】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部人材との日程調整 ・設置先との連絡
8	<p>自分たちがつくりたいものについて、製作の見直しをも</p>	<p>作り方を調べる。</p> <p>アイデアスケッチをする。</p>	<p>協力者の陶芸家の方に、児童のアイデアやスケッチの相談にのっていただく。</p>	<p>大まかな作り方を知り、作るための準備について知る。</p> <p>(ワークシート7)</p> <p>(製作スケッチ)</p>	<p>【依頼する外部人材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶彫会 ・常滑「手造り急須」の会 <p>《準備するもの》</p>

時	本時のねらい	児童の学習活動	教師の支援	評価計画	備考
	つ。				・ワークシート7 (製作スケッチ)
9 ～ 12	製作手順 やさまざ まな技能 を学び、 焼き物の 歴史や文 化的な価 値を感じ 取る。	つくりたいものを 試しにつくる。	協力者の方に技術の 指導を受け、つくり たいと考えているも のを実際につくり、 練習をする。 粘土であるので、何 度も作り直すように させる。	作品製作に必要な 技能を知る。 (実技・観察) 作品製作に必要な 技能を高めるよう 練習する。 (実技・観察)	【依頼する 外部人材】 ・陶彫会 ・常滑「手造り急 須」の会 《準備するもの》 ・粘土 ・へら ・ビニールシート ・粘土台
13 ～ 15	焼き物の よさを感じ取りな がら製作 する。	練習したことを生 かして実際につく る。 乾燥させ、焼成のため の準備をする。	練習したことを生か して製作する。 作品を完成させる上 でどうしても必要な 部分は、専門家の手 助けをいただく。 夏休みを利用して焼 成先まで運ぶ。	習った知識や技能 を生かし、協力して 作品をつくる。 (製作・観察)	【依頼する 外部人材】 ・陶彫会 ・常滑「手造り急 須」の会 【事前の手配】 ・焼成場所との連 絡 ・設置する施設へ の依頼
16 ・ 17	設置につ いての見 通しをも つ。	出来上がった作品 を設置する準備を する。 ・電話での問い合わせ の仕方を練習する。 ・設置の日時や設置方 法の確認をする。	連絡先へ事前にお願 いをしておくとともに、 児童のお願いの 仕方を指導してお く。 専門家の協力者の方 にも設置の方法につ いて問い合わせをさ せる。	電話での応答の仕 方やお願いの仕方 について知る。 (ワークシート8) 分かりやすく丁寧 に相手をお願いす ることができる。 (お願いの様子の観 察)	【依頼する 外部人材】 ・とこなめ中央商 店街 ・焼き物散歩道 《準備するもの》 ・ワークシート8 (お願いメモ)
	設置をす	設置をする。	管理者の方と相談し	設置した意義や自	【依頼する

時	本時のねらい	児童の学習活動	教師の支援	評価計画	備考
18 ・ 19	ることで、 焼き物を 通して地 域に貢献 できた喜 びを味わ う。	設置をし終わっ たら、利用する方々に 声をかけてPRを したり、感想を聞い たりする。	ながら、利用しやす い場所を考えて設置 する。 利用者の声を直接聞 く機会がないため、 設置のりに聞いて おくようにさせる。	分の果たした役割に ついて感じ取る。 (観察)	【外部人材】 ・とこなめ中央商 店街 ・焼き物散歩道
20	自分たち の活動を 振り返り、 多くの 人に知っ てもらう 方法を考 える。	活動についてまと め、地域に発信する 計画を立てる。 ・活動のまとめ方を考 える ・発信の方法を考える	グループに分かれ て、分担して発信活 動を行うようにさせ る。 ホームページに載せ る、ビデオにまとめ てケーブルテレビで 放送してもらう、市 役所ロビーの広報 用テレビで流しても らう、市の広報や掲 示板に載せてもら う等、あらかじめ可 能な方法を把握して おく。	何を伝えるのか、ポ イントをおさえて わかりやすく発信 しようとする。 (観察) 自分たちの伝えたい ことに合った発信 方法を選ぶ。 (話し合い) (ワークシート9)	【事前の手配】 ・発信協力先への 依頼 【依頼する 外部人材】 ・市商工観光課
21	活動のま とめをし、 発信の準 備をする。	活動のまとめをし たり、発信の協力を 依頼したりする。 ・写真や原稿をまと める ・掲示物をつくる ・協力してもらうと ころに依頼をする。	活動した事実だけを 載せるのではなく、 活動を通して学んだ ことや自分たちの郷 土常滑に対する思い などを入れて作成さ せるようにする。	今までの活動に対 して自分の意見や 考えを織り込んで まとめを行う。 (発信原稿)	《準備するもの》 ・写真・模造紙 ・ビデオカメラ ・ビデオテープ ・パソコン
	計画に従 って発信	発信活動をする。 ・依頼先に届ける	この時間にもってい けないグループにつ		《準備するもの》 ・作成した掲示物

時	本時のねらい	児童の学習活動	教師の支援	評価計画	備考
22 ～ 24	を する。		いては、別の時間に対応する。		
25	活動を振り返り反省するとともにお世話になった方々に感謝をし、これからの自分に生かそうとする。	学習のまとめをする。 ・お世話になった方々へお礼の手紙を書く ・感想文を書く ・ワークシートの製本をする	単元のまとめとして、自分が体験したことだけでなく、活動を通して新たに考えをもったこと（考え方が変わったこと）や常滑に対する思いについても記述させるようにする。 プリンターを設置したグループには、花の植え替えも提案する。	地域のよさに気づいたり、自分の役割を考えたりする。 (ワークシート10)	《準備するもの》 ・お礼用の便せん ・ワークシート10 (感想文の用紙) ・ワークシートの表紙 ・製本用のステープラー 【事前の準備】 ・植え替え用の花の苗

(5) 年間計画の中の位置づけと他教科との関連

月	授業プログラム	関連させた教科「単元」
4	1 見通しをもつ	
5	2～6 計画を立てる	国語「お願いの手紙、お礼の手紙」
6	7～15 練習して製作する	国語「い死 ^じ ユ-名人になろう」
7	乾燥させて焼成の準備をする	
8	焼成場所へ搬入する 焼成して搬出する	
9		
10	18・19 設置する	
11	20～25 発信する	国語「工夫して発信しよう」
12		
1		図工「曲げてねじって」
2		
3	植え替えをする	